

平成21年第1回定例会一般質問

平成21年3月17日・18日・19日

(17枚のうち1枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	16番 鵜木 誠 議員	30分	1 伊佐の交通弱者対策、整備について	<p>合併協定書で確認はされているが、市内全域の交通弱者への対応は合併前からそれぞれ対策が取られてきたが、その対策が住民ニーズに合わず効率の良い状況ではない。</p> <p>(1) 特に周辺部集落に住む高齢者の交通対策を考えてやらなければ、今後益々生活に困る状況が出てくる。この事は限界集落対策も含め、集落存続にも大変重要な問題である。</p> <p>(2) 菱刈地区を走る巡回バスは永年運行しているが、利便性や効率から見て再検討の時期である。</p> <p>(3) 福祉タクシーの500円券の配布も伊佐市全体で実施される事になるが、頂く人にとって有り難さがゼロではないが問題が残る。</p> <p>(4) 大口地区に残っている路線バスも、菱刈地区の巡回バス同様、利用している人には大事な交通手段であるが、効率から考えれば問題があるのではないか。</p> <p>交通手段のない人々のために病院では、患者を送迎する車を準備している。伊佐地区全体の路線バス、スクールバス、巡回バス、福祉タクシーなど全ての交通手段全体を、福祉、教育、生活全般で総合的な見地から検討することが、地方の町では必要と思う。 合併協定書のその後の方策として、市長の考えを伺いたい。</p>	市長	
			2 スポーツ振興について	<p>2月に県下一周駅伝競走大会が今年も行われた。伊佐の選手は一丸となって戦い、郷土通過に今年も多くの住民が沿道に出て応援し感動を与えてくれた。伊佐チームの運営スタッフの話を聞くと、年々選手層が薄くなり、今、何とかしなければいけないとの事だ。 市長、教育長として今後の取り組みに対する考えを伺いたい。</p>	市長 教育長	

平成21年第1回定例会一般質問

平成21年3月17日・18日・19日

(17枚のうち2枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	13番 福本千枝子議員	40分	1 第4期介護保険事業について	平成21年度から3年を目途にグループホームと小規模多機能型居宅介護施設を増やすとあり、入居希望の待機者や家族にとっては朗報である。そこで介護職離れの中、マンパワーをどうするのか伺いたい。	市長	担当課長
			2 農山村女性組織活動について	本市の農業や農山村女性組織活動の指導として、農業改良普及所は欠かせないものである。平成22年度から県の出先機関(始良・伊佐地域振興局農林水産部大口支所農林普及課)が縮小され、出張所規模になると聞く。今後、伊佐地区農山村女性組織ネットワークの活動が低下すると危惧するが、市としてどう取り組むべきか伺いたい。	市長	担当課長
			3 公用封筒の広告活用について	自主財源確保の為、各自治体や県庁においても広告入りの封筒が使用されている。本市でも検討できないか。	市長	担当課長
			4 税金の納付について	国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料は年6回の納付である。しかし、市県民税、固定資産税は年4回の納付となっており、一期毎の納付金額も大きい。納付しやすくする為、納期を全て統一し、納期回数を増やせないか。	市長	担当課長
			5 ゴミ袋のデザインについて	伊佐市となり、ゴミの量も増え、ゴミ袋の使用も増加してくると思うが、以前よりゴミ袋のデザインを検討していただきたいとの市民団体の声もあったと思うが、どう対処されているのか。又、今後どうされるのか伺いたい。	市長	担当課長

平成21年第1回定例会一般質問

平成21年3月17日・18日・19日

(17枚のうち3枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	18番 古城 恵人議員	40分	1 川内川河川改修業に関連する取り組みについて	<p>平成18年7月の豪雨災害は、災害を防止し又は減災する対策が不十分であったことなど様々な教訓を示してくれた。5年間の時限立法「激特事業」もあと2年を残すのみとなった。被災者・被災地区住民、議会、行政一体となつてのハード・ソフト面について、引き続き総合的な対策が喫緊の課題となっている。</p> <p>(1) 住民が自主的に防災意識を高め、組織的継続的な総合防災活動体制をさらに推進していくべきではないか。本市の考え方を伺いたい。</p> <p>(2) これまでの激特事業の進捗に対して、本市はどのような評価されているのか。これから国・県にどのような要望や対応を考えているのか。</p> <p>(3) これから2015年完成にむけて阿波井堰改修が始まる。当然、本川の増水による関係支流の内水被害の拡大が考えられる。激特事業と並行し内水対策が実施できるよう働きかけを強力に進めるべきではないか。国・県への排水ポンプ車設置の取り組みの進捗について示せ。</p> <p>(4) 曾木の滝分水路の工事進捗は喜ばしい。しかし、分水路と鶴田ダム操作規則改正はセットで進められるべきである。さつま町と4災害対策協議会も鶴田ダム操作規則改正を国交省・河川事務所と交渉中である。本市もこの鶴田ダム操作規則改正について、鶴田ダム管理事務所に申し入れ等交渉するべきと考える。本市の見解を示せ。</p> <p>(5) 鶴田ダム操作と同様、湯之尾井堰の操作規則も見直しが必要である。ゴミ対策とあわせて本市はどう考えて対応する考えか示せ。</p>	市長	担当課長

平成21年第1回定例会一般質問

平成21年3月17日・18日・19日

(17枚のうち4枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
			<p>2 鳥獣被害対策に関連する取り組みについて</p>	<p>ここ近年、山間地ばかりでなく、鳥獣被害とりわけシカ、イノシシによる農作物や植林したばかりの苗が食い荒らされ被害に困窮されている農家などが増えている。本市は鳥獣被害の実情をどのように調査し把握されているのか。このままでは農家は販売用の作物ばかりでなく、自家用のそ菜や飯米までも収穫できない家庭が出始めている。田畑も家の軒先までネットに囲まれ生活されているところすらある。中山間地の高齢化や地球環境の温暖化等により本市の鳥獣被害はますます増加することは必定といえる。本市の鳥獣被害防止取り組みの現状と考え方について伺いたい。</p> <p>(1)本市の鳥獣による農作物被害、幼齢木の食害など森林被害の現状を調査し把握されているか。されているのであればそのデータを示せ。</p> <p>(2)旧菱刈町・大口市の鳥獣被害防止計画の内容と取り組み等その成果、課題について示されたい。</p> <p>(3)本市は関係団体との連携や鳥獣被害防止対策実施隊の現状はどうなっているか示されたい。</p> <p>(4)旧菱刈町が設置した捕獲鳥獣処理施設の現状と課題について示されたい。</p> <p>(5)イノシシにネットは効果がなく、電気柵はシカに効果がないなど農家の負担は一様ではない。本市は防止柵の現状をどう考えているのか。</p> <p>(6)鳥獣保護区は特別保護区以外は都道府県が設置することになっている。本市は県に対して保護区の変更や解除などについて検討相談や申請はしているのか。されているのであれば県の対応について示せ。</p>	市長	担当課長

平成21年第1回定例会一般質問

平成21年3月17日・18日・19日

(17枚のうち5枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	15番 森山 善友議員	30分	1 学校(小・中)統合について	<p>1 審議委員会の審議内容や回数、委員、メンバー等について(旧大口市と伊佐市での委員)</p> <p>2 説明会以後の住民の意見や、又、市の対応について</p> <p>3 今後の取り組みについて(大口中学校関係者等への説明等や、小中学校一貫教育への検討)</p>	教育委員長 教育長 市長	

平成 2 1 年第 1 回定例会一般質問

平成 2 1 年 3 月 1 7 日 ・ 1 8 日 ・ 1 9 日

(1 7 枚のうち 6 枚目)

順位	発 言 者	発 言 時 間	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	2 0 番 岩元 克頼議員	2 0 分	1 小規模小学校における放課後の保育について	小学校では、放課後児童健全育成事業（学童保育）が導入されているが、小規模校では制度上、これを導入できない。そのため通学区外の学校に通っている例もあるが、このような格差を是正するためどのような方策を講ずれば良いか。	市 長 教育委員長	

平成21年第1回定例会一般質問

平成21年3月17日・18日・19日

(17枚のうち7枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	11番 左近充 議員	30分	1 救急医療体制について	1 北薩病院医師の確保について 2 防災ヘリ・ドクターヘリの導入について	市長	
			2 本城体育広場照明施設建設について	1 小学校のサッカーや球技・消防の訓練などに必要と思うが。 2 本城町地区の、災害時の集合場所になっている。 3 旧体育広場は、県道の拡幅工事で移転費や、用地費がいくら入っているか。又、川間川改修の用地費は。	市長	
			3 雇用対策について	1 農・畜産関係の企業に、雇用を求める時ではないか。 2 林道の藪払いを、市の方でできないか。	市長	

平成21年第1回定例会一般質問

平成21年3月17日・18日・19日

(17枚のうち8枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	12番 柿木原榮一議員	40分	1 伊佐市の基本計画について	1 伊佐市の基本計画構想は、どのような案になり、いつ出されるおつもりか。 2 伊佐市の総合振興計画の概要は、「新市まちづくり計画」との整合性はどのようになっていくのか。 3 伊佐市次世代育成支援行動計画についてはどうか。 4 伊佐市過疎地域自立促進計画についてもお聞きしたい。 5 伊佐市老人保健福祉計画（又、伊佐市介護保険事業計画）は後期高齢者も含んできますが、どうなるのか。 6 伊佐市住宅マスタープランの目的と位置付け・今後の定住促進との結びつけはどうなってるのか。 7 伊佐市地域省エネルギービジョン策定はどうされますか。 8 伊佐市の教育基本振興計画策定については策定義務ではないが、どのようになされるのか。 9 教育委員会で出される伊佐市の教育の指針はどうされるのか。	市長 教育長	

平成21年第1回定例会一般質問

平成21年3月17日・18日・19日

(17枚のうち9枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
			2 伊佐の農業について	<p>1 遊休農地の現状と対策について</p> <p>2 JA伊佐営農座談会において、稲作の2009年産米でヒノヒカリを中心に、「夢はやと」と「あきほなみ」を組み合わせ品種構成の確立を図ることが報告されていますが、伊佐のブランドとしてどのようにお考えか。他の品種作付けの「はなさつま」等の考え方はどうか。</p> <p>3 それぞれの品種の適期の植え付け・刈る時期が違うが、土地改良区が国土交通省から水利の期限許可を受けているが、伊佐市としてどのような動きになるのか。水系別の作付けの調整が出来ないものか。</p> <p>4 近年の制度見直しにより、これからの中山間地域総合整備事業と農村振興総合整備事業の伊佐市の考え方はどうなってくるのか。</p> <p>5 畜産関係になるが、「肉用牛特別導入基金」「肉用牛規模拡大事業基金」「乳用牛規模拡大事業基金」のような貸付金がありますが、いろいろな貸付の条件・要件がありますが、1頭だけが対象でありましたが、2頭以上の貸付はできないものか。高齢化により飼育離れ、堆肥センターの原料である堆肥の確保の問題、若者が畜産経営に魅力を感じ始めているがどうであろうか。</p>	市長	

平成21年第1回定例会一般質問

平成21年3月17日・18日・19日

(17枚のうち10枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	21番 植松尚志郎議員	20分	1 県道川西菱刈線の拡幅改良を急ぐべきと考えるが	現在、吉松やえびのの人たちは国道268号線で栗野を迂回してくる人が多い。県道川西菱刈線が整備されると距離も短くなり、えびの、吉松方面からの往来が多くなると考えます。この事が伊佐市の発展につながると考えるのですが、市長の考えを伺います。	市長	

平成21年第1回定例会一般質問

平成21年3月17日・18日・19日

(17枚のうち11枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	6番 畑中 香子議員	40分	1 生活保護行政について	1 生活保護申請の際に住居が実際になくても「所管区域内に現在地を有する者」であれば申請を認めることができるか。 2 「年越し派遣村」では「急迫した状況」である要保護者について即日で保護決定できることが注目されたが、手持ち金がなく急迫した場合、即日決定としているか。 3 「申請保護」に基づく申請権の侵害が疑われる行為がないか。	市長	
			2 介護保険制度について	今年4月「見直し」時期を迎えるが、要介護認定の見直しについては認定が「より実態を反映しないものとなる」との声があがっている。自治体として認定を実態を反映したものにするための取り組みは。	市長	
			3 国保証について	資格証しか持たないか、短期証の期限切れの状態では病院にかからなければならない方が窓口で申請した場合の対応は。	市長	
			4 肺炎球菌ワクチン接種の公費助成について	高齢者の多くが命を落とす肺炎の主な原因となる肺炎球菌のワクチン接種について公費負担を行う自治体があるが、本市でもこの制度をとり入れられないか。	市長	

平成21年第1回定例会一般質問

平成21年3月17日・18日・19日

(17枚のうち12枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	9番 沖田 義一議員	30分	1 風水害、地震発生時の情報収集や連絡体制等について	<p>1 ここ数年地球温暖化の影響といわれているゲリラ的集中豪雨が各地で発生している。時には時間雨量100ミリを超える猛烈な雨もみられている。合併し面積も広がってきている。緊急時の市民への情報の伝達、消防団、病院、学校への連絡は、どのような方法をとるのか。</p> <p>2 避難訓練については、昨今の集中豪雨をみると、早めに訓練を行い、備えるべきではないかと思うが、このことについて伺いたい。</p>	市長	
			2 風水害図上訓練マニュアル策定について	<p>1 伊佐市は消防庁の地方公共団体の危機管理能力向上を図る、図上型防災訓練の実施支援マニュアルを策定するモデル地域に選ばれた。本年度から3カ年間、全国3自治体をモデル地域に調査研究を行なうということであるが、具体的にはどのようなことが行なわれるのか。</p> <p>2 伊佐市の危機管理能力向上を図るいい機会であり、全国の自治体もその成果に注目していると思うが、伊佐市としてはどこに重点を置いた調査研究を行なう考えなのか。</p>	市長	
			3 市営住宅の利用状況と管理について	<p>1 住宅戸数と入居状況について</p> <p>2 善良な管理の行なわれていない住宅はあるのか、その状況について</p> <p>3 市としての指導、管理はどのようにしているのか。</p> <p>4 古い住宅の建て替え計画について</p>	市長	

平成21年第1回定例会一般質問

平成21年3月17日・18日・19日

(17枚のうち13枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	14番 市来 弘行議員	30分	1 急ぐべき政策課題について	<p>1 脳神経外科医師の確保と県立北薩病院のサポートについて</p> <p>今、又、北薩病院脳神経外科医師の確保が風前のともしびとなっている。より一層、地域と行政が一体となって取り組み、その解決に向け努力することが求められている。又、このことに加え、当地域医療の中核となっている北薩病院に対する伊佐市独自のもう一段踏み込んだサポートが必要と考える。</p> <p>(1) 脳神経外科医師の確保に向け、今後どう具体的に取り組んでいくのか。</p> <p>(2) 現在、週2回来てもらっている応援の医師の常勤医師化に向け、伊佐市の出来ることはないか。</p> <p>(3) 北薩病院に小児科医師2名が在籍しているのは、他の地域から見た場合、ある面で「奇跡」であると言われている。北薩病院に勤務している医師全員を対象として、今後、ある一定期間、地域医療研修資金として、市独自の条例を作り、北薩病院に寄付することは出来ないか。</p> <p>(4) 医師等の住環境に関し、市の政策と合わせサポートしていけることは、何か考えられないか。</p> <p>2 当地域農産物の販売拠点の新設・拡充について</p> <p>両市町が合併し、新しい伊佐市が誕生した。ある意味で、又とない、大きなチャンスの時と言える。市長は自らのマニフェストの中で伊佐を活かす産業振興を応援していくと表明しているが、ここはもう一段踏み込み、市主導のもと、地域活性化に向け、行動を起こす時と考える。</p>	市長	

平成21年第1回定例会一般質問

平成21年3月17日・18日・19日

(17枚のうち14枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
				<p>(1) 横川「よいやんせ」、宮之城「ちくりん」に匹敵する年間売り上げ3億円以上を目指した地域農産物の販売拠点づくりを急ぐべきと考える。具体的には、そうした販売拠点を市内に2カ所(旧大口市街・旧菱刈市街)立ち上げ、生産農家の増加と活力向上、そして所得向上を目指すべきと考える。</p> <p>(2) 販売拠点の建設については、国の「がんばる地方応援プログラム」を積極的に活用し、早急に着手する。</p> <p>(3) 経営の主体は、あくまでも生産者組合にあるものとし、この物産館を建設した後、オープン1年後に経営はすべて生産者組合の責任のもとに置く。(土地は市が所有し、生産者組合が借り受ける形とする。)</p> <p>(4) 生産者組合については、広く開かれたものとし、加入したい人については、市内在住を条件とし、全て受け入れる。オープンするまでの間、先進地への研修・経営ノウハウの蓄積については、市が主導し、積極的に関与する。</p> <p>(5) 「伊佐」ということを前面に出して、いい形の運営となれば、地域全体の活性化・交流人口の増加に必ずつながってくると思われる。今、決断する時ではないのか。市長の見解をお聞きしたい。</p>		

平成21年第1回定例会一般質問

平成21年3月17日・18日・19日

(17枚のうち15枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
12	10番 鶴田 公紀議員	40分	1 市長の政治姿勢について	1 総合振興計画の基本構想について 2 生産調整(減反)施策について 3 地域活性化対策及び地元企業の育成並びにトップセールスのあり方について 4 定額給付金及び地域活性化・生活対策臨時交付金について	市長	
			2 人事管理について	1 条例の職員定数と現在の職員数について 2 人口に対する適正職員数について(機構改革) 3 人事異動について	市長	
			3 伊佐県体について	1 地元開催の競技種目について 2 整備状況(個所及び程度)について	市長	

平成21年第1回定例会一般質問

平成21年3月17日・18日・19日

(17枚のうち16枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
13	7番 今吉 光一議員	30分	1 市立学校施設の現状	<p>市内20の小・中学校の校舎や体育館等の建物は建設されて何十年もなり、老朽化が進み、文科省の指導もあって耐震強度の問題や壁の剥離・使用材料にアスベストが使われ、取り換え工事や補修・補強工事をしてきた。</p> <p>施設の中には災害時の避難場所としても指定され、安全性の確保が必要となっているものもあるが市長の耐震化に関する所信を伺う。</p> <p>また管理する学校施設(校舎・体育館)の建設された時期と耐用年数をどう考えているか。</p> <p>昨年施設の耐震診断をしたと聞くが、その結果と対策について。</p>	市長 教育長	

平成21年第1回定例会一般質問

平成21年3月17日・18日・19日

(17枚のうち17枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
			2 本市の入札制度の実態と改革	<p>工事の契約にあたっては事務処理規定を定め、副市長を長とし各課長を委員とする委員会を設置して、公正に業者の選定・工事实績・工事経歴・技術能力経営状況等を十分に配慮し、内部牽制作用に努めるべきと考えるが、市長の所信を伺う。</p> <p>これまでは指名競争入札・随意契約が主流であったが全国で公共事業の入札をめぐる癒着による汚職事件や業者間の談合で工事費が割高になり、結果として本市の名誉を傷つけ損害を与えることになり、何よりも市民の税金を横領しているようなものである。</p> <p>最近の「緑資源機構」の事件が発端となり、一般競争入札に移行されつつあるが、そこで問題となるのが地場産業振興である。</p> <p>地元の業者が落札することによって雇用が生まれ、さまざまな経済効果が期待できるが、大手のゼネコンに座を奪われ昨今の不況により下請けさえも地元の業者が介入できない状況となっている。</p> <p>緊急時において一番市民が頼りになるのが、遠くのゼネコンより近くの地元業者である。</p> <p>合わせて地域産業振興の繁栄に繋がるとするならば、単独の事業については総合評価方式の採点等を特に考慮し、改革を推進すべきではないかと思うがどうか。</p> <p>アメリカの公共工事発注制度(V E方式)についてどう考えるか。物品等購入についての現況はどうか。</p>	市長	